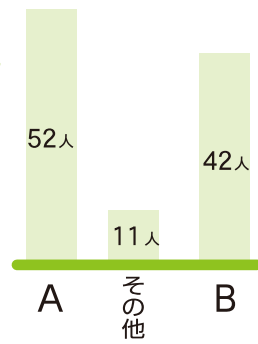


町の今後のまちづくりの方向性について、あなたは、「地域コミュニティの充実」か「コンパクトな町づくり」かどちらに向かうべきだと思いますか？その理由も教えてください。

A 地域コミュニティの充実

地域コミュニティを充実させることで地域の絆を取り戻し、小規模自治体でありながらも、住民の皆さんの満足度を高めることによる、持続可能で魅力的なまちづくりを推進



B コンパクトな町づくり

加速化する高齢化・人口減少に加えて、居住エリアも広範囲に点在している九重町の特性を踏まえ、行政効率（経済性）の観点から、地域の中心エリアに集中し、コンパクトで効率を重視した町づくりを推進

理由（一部抜粋）

A 地域コミュニティの充実

- 代々受け継ぎ、生まれ育った土地を捨てて集住することは、難しいと思う。
- 広大な面積であるからこそ、住民同士が密になり相互の支え合いが大切。
- 現実的に、コンパクトシティを掲げても無理だと感じる。
- 今後、行政区の維持を図るためにも、行政区の見直しも必要となる。
- 移住者を含め、若い世代をもっと受け入れ、地域コミュニティの維持を図る。
- 地域のつながりを深め、若者がUターンしたくなる田舎づくりを行うべき。
- 困ったときに集える場所をつくり、相互に助け合える関係性を構築すべき。

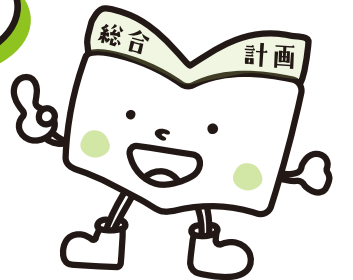
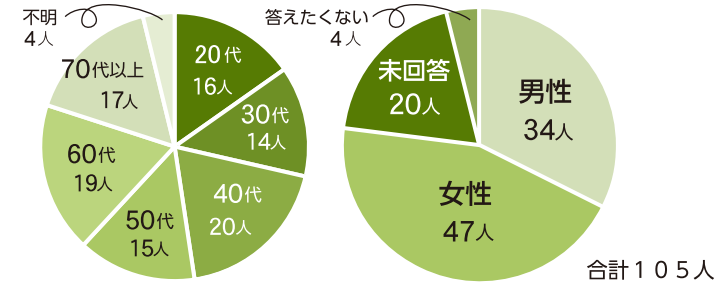
B コンパクトな町づくり

- 極端なコンパクトは難しいが、一部又は分散的にコンパクトを求めては。
- インフラや災害を考えると、集合住宅や高齢者専用住宅を整備すべき。
- 行政や医療・介護等の持続可能なサービスを受けるには集住すべき。
- 高齢化により住民の助け合い又は見守りについてもコンパクトな方が良い。
- 病院、商店、学校等を核としたコンパクトなコミュニティづくりを図る。
- 各々の地域色は大切であるが、施設の維持費等も考慮し、最小限にすべき。
- 地域コミュニティは既に崩壊しつつあり、それを食い止めるのは難しい。

「九重町第5次総合計画」策定に向けて 「九重町の2040未来予想図」アンケート結果報告

広報ここのえ4月号でお知らせしました『2040年頃に九重町が抱える諸課題』を踏まえた町の将来像に関するアンケート結果とご意見の一部をご紹介します

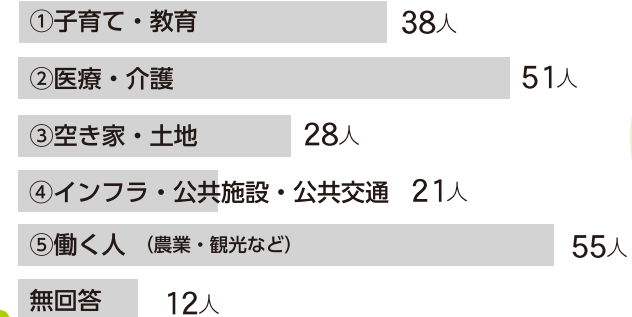
アンケートにご回答いただいた方の属性



問 企画調整課 (☎76-3807)

詳しいデータは九重町ホームページからご覧いただけます

九重町では将来的に人口減少が見込まれていますが、人口減少による各分野の課題について、あなたが特に心配であるテーマはどれですか？2つ選択し、その理由を教えてください。



各年代で多かったものは、
20代 ⑤働く人
30代 ①子育て・教育と⑤働く人
40代 ②医療・介護
50代 ⑤働く人
60代 ②医療・介護
70代以上は、
①子育て・教育と②医療・介護でした

「2040年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？ご感想やご意見、ご要望などをお聞かせください。

年代・性別	内容
20代 男性	人口増加に向け、移住者が増えるように空き家や住宅設備を整えたり、外国人労働者の雇用を進める。または、地熱開発企業等の誘致を進め、新たな雇用の場を増やす取組も良いのではと思います。
30代 女性	九重町は大自然が残っているのが宝です。この宝をどう生かすのか、人が住みたくなる町とはどんな町なのか研究する必要があると思います。人々が多くなくても観光でどのくらい人を呼べるか？自然と組み合わせた観光コースを作るのも良いと思います。
40代 男性	生涯現役、いくつになってもやりがいを持って取り組める環境があれば、町全体が活性化されるのではないかと思います。
50代 男性	2万人、1万人いた町の人口が5千人に減少するのは大変だとは思いますが、町がなくなる訳ではありません。5千人なりの町づくりがあるはず。5千人でできる町づくりをすすめましょう。
60代 女性	お互いが助け合い、信頼できる仲間でありたい。夢ですが、九重町内で自給自足できる地域になってほしい。農業への希望、安心安全な農業のあり方を検討してもらいたい。
70代以上 女性	2040年の予想人口を見て驚きました。若い人たちが九重町ですっと暮らして欲しい、外からの人が移住したいと思えるような町であって欲しいです。子育て世代への対応は充実していると思うので、もっと情報発信をしていくべきです。



理由（一部抜粋と要約）

①子育て・教育

- 児童生徒数の減少により、小学校の学校統合や複式学級の導入等が不安
- 人口減少により、高校が統合・廃校になることが考えられ心配

②医療・介護

- 高齢者の増加により、医療・介護の受入体制及び介護人材不足が心配
- 高齢者の医療費の値上がりや介護費用の高騰で年金生活が苦しい

③空き家・土地

- 自宅周辺を見ても、使用しない家や土地が増加しており、管理が難しい
- 空き家の譲渡が進まないのは、取壊費用をはじめ相続、仏壇などの問題

④インフラ・公共施設・公共交通

- 公共交通の確保が重要であるものの、コミバスなど利用者数が少ない
- 税収が減る中、道路整備や水道施設への投資が出来なくなる可能性がある

⑤働く人（農業・観光など）

- 高齢化・人口減少が進み、農業を中心に後継者不足が拡大している
- 働く場所が少ないため、子どもたちも県外・町外へ流出している

いざ病気になる時、病院に行く交通手段も含め将来的に心配



集落（生活空間）の維持が心配



子どもが減少し、複式学級が主になると学力に不安があります



高齢化が進み、十分な医療・介護が受けられるかが心配



農業の担い手がいなくなる不安

